

Renewal
START



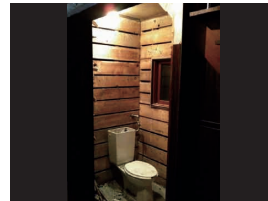
2月9日



2月10日



2月11日



2月12日



2月13日



2月14日



2月15日



2月16日



2月17日



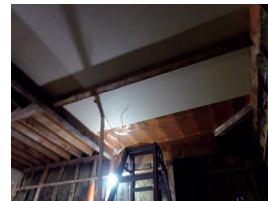
2月18日



2月19日



2月20日



2月21日



2月22日



2月23日



2月24日



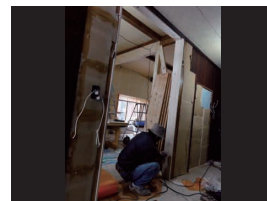
2月25日



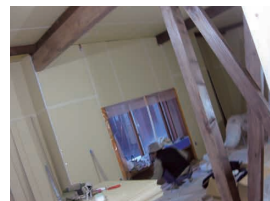
2月26日



2月28日



3月1日



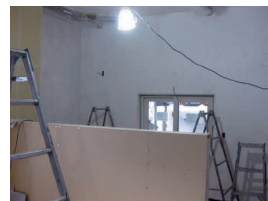
3月2日



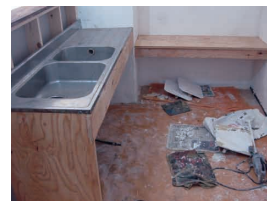
3月3日



3月4日



3月5日



3月6日



3月7日



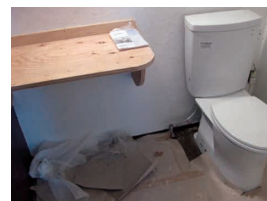
3月8日



3月9日



3月10日



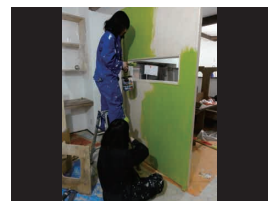
3月11日



3月12日



3月13日



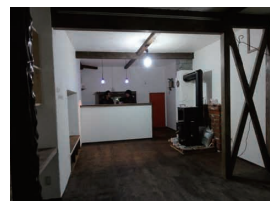
3月14日



3月15日



3月16日



3月17日



3月18日



3月18日

Renewal
END?

Rock The Life! ezorock

2011.6
vol.8



next-stage of ezorock community

改装 Days

～新事務所改装までの日々～

今月の写真

環境 NGO ezorock の新しい拠点となる「一軒家」。昨年まではサイクルシェアリング porocle の事務所として利用していました。そして、今年から ezorock の事務所として改装をし、1階はコミュニティスペース、2階は各プロジェクトの会議スペースとして活用されます。

環境 NGO ezorock 情報誌コミュニティスペース特別号 vol.8 2011.6

Rock The Life! ezorock

064-0809 北海道札幌市中央区南 9 条西 3 丁目1-7
TEL/FAX 011-562-0081 E-mail info@ezorock.org

環境 NGO
ezorock
www.ezorock.org



改装 Days

移転計画

廃校になった小学校を市民活動スペースとして貸し出していた「アウ・クル」に事務所を構えて 5 回目の冬.ezorock にひとつの疑問が浮かんだ。「なぜ事務所に来てくれる人と来てくれない人がいるのか」みんながいてこそこの ezorock なのに来てくれる人は少ない。そこに問題を感じ、どうしたら足を運びやすく気軽に立ち寄れる場所になるか議論を重ねて出た結論が、一軒家への事務所移転。

決まったのは中島公園から徒歩 1 分、ビルやマンションに囲まれてひっそりと佇む二階建ての一軒家。ここを改装してみんなが気軽に立ち寄れる場所にしようと決めたものの、家に一步踏み入れるとしばらく人の利用がなかったためか暗い雰囲気、さらには寒い時期だったため水道管が破裂し、吹き出した水が凍って家の中に鍾乳洞が出来ているような有様。改装をしようにもノウハウがないため計画は平行線をたどる。

——しかしそこで出会いがあった。

櫻井百子さん、札幌で「atelier momo」という設計事務所を構える設計士さんだ。櫻井さんに話に入ってもらうことで、ああしたいこうしたいで止まっていた話が具体的に、さらに図面に落ちていく。描いたのは 1 階をカフェのように気軽に立ち寄れるコミュニティスペースに、2 階は事務所としてミーティングや作業を行えるような空間にするというものだった。

そしてその図面を現実とするときに櫻井さんに紹介していただいたのが大工の木沢幸彦さん。

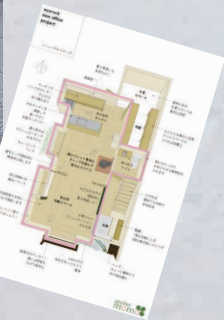
木沢さんも札幌で「Kizawa Wood Working」という建築工房を営営する（4 月から本拠地を京都へ）その道 30 年の職人さん。

ezorock のボランティアスタッフも改装作業と一緒にやらせて欲しいという一般的には聞いてもらえないようなお願いも快諾していただき、ついに改装工事が始まった。



▲水道管破裂

イメージ図面 ▶



改装開始

2/9、ついに改装工事に着手。まずは改装に伴い、古い壁や床といった余分なものを解体していく。ここで思いがけないものを見つけた、畳をひっくり返して出てきたのは 1969 年の新聞。載っているのはもちろん過去の出来事、約 40 年という時の流れを直に感じつつ解体は進んでいく。解体があらかた終わると、次に着手したのは柱の入れ替えと梁の補強。改装前は和室と居間に別れていたものをワンフロアの広いスペースにするため、元々あった柱を抜かねばならず、さらに家の安定性も保たなければならないため新たに柱を立て、新しい梁を入れる。実はこの改装、ezorock が普通に改装したんじゃ意味がない、ということとで随所にこだわった部分がある。そのこだわりのひとつが、使用した



▲約 40 年前の新聞紙

改装前の 1F 南側 ▶

木材。現在建築に使用される木材は外国産のものが多く、今回の改装にはほぼ全て道内産の木材を使用。そうしたことから、ここに 40 年前からこの家を支えてきた道内産の梁と新たな道内産の木材のコラボレーションが誕生した。

その後床の基盤を作り直し、8 日目、断熱材が到着。これもこだわりのひとつで、使用した断熱材はウッドファイバーというもの。多く使用されるのは吸音材にも使われるグラスウールというガラスを綿状にしたものだが、ウッドファイバーは木の繊維でできた断熱材で、その見た目はウエハースのよう。ガラスに比べて人体に影響が少ないのももちろん、木という燃えやすそうなイメージがあるが表面が炭化することで発火温度が上がり実は燃えにくく、風を通し熱は逃がさないという優れもの。日本では苦小

古くから建築素材として用いられてきた漆喰を壁に塗ったのは漆喰塗りの魅力に取り憑かれた ezorock メンバーの女の子 3 人。日々塗り方が上手になり、彼女たちに名付けられた名は左官ガールズ（左官 = 漆喰塗りなどを職とする職人のこと）。壁の随所にユーモアあふれる漆喰アートが散りばめられました。事務所へお越しの際は是非、探してみてください。



左官はお任せ！

牧にしか工場がなく広く浸透してはいないが、環境先進国ドイツでは主流の断熱材になっているそう。その断熱材を床下に敷き詰め、上から床板を張る。そして 11 日目、改装を開始してから最大の参加人数となる 8 人で床を塗り、フラットになった床が完成。

しかしその余韻浸る暇はなく、壁と天井に着手。壁にはウッドファイバーを埋めていき、天井には石膏ボードを打ち付ける。天井ができたからウッドファイバーが埋まったところから石膏ボードを打ち付けて壁にしていくという作業を 3 日続けて 15 日目の夜。「ezorock cafe」という交流会で完成後のシミュレーション（通称：エアー・一軒家、オトナのままごと）を実施。これが意外に面白いもので、「今何時？」と誰かが聞くと皆一斉に南側の壁を向く。時計はまだないというのに。他にも電話をどこに置こうかといったことや、荷物はどこに置こうかなどといった完成に向けて準備することが浮き彫りになってきた。

翌日からはまだ石膏ボードが打たれていない部分を打ち付けたり、電気配線が入ったり、梁に色を塗ったり、筋交い（柱と柱の間に斜めに木材を入れ補強するもの）を入れたりと様々な作業を進行しつつの 21 日目。ついに壁塗りがスタート。

古くから建築素材として用いられてきた漆喰を壁に塗っていくというこの作業。これがまた面白い。その魅力に取り憑かれた ezorock メンバーの女の子 3 人が一所懸命コテを動かす。日々塗り方が上手になり、ますますのめり込んでいく彼女たちに名付けられた名は左官ガールズ（左官 = 漆喰塗りなどを職とする職人のこと）。左官ガールズが頑張っている隣では 22 日目にストーブを置くためのレンガを設置。



▲交流会の様子



交流会の際に食べたうどん ▶



▲漆喰塗りの様子

このレンガはレンガの町江別の「米澤煉瓦」というところで生産された煉瓦を使用。

旧西武デパートの建物もこの米澤煉瓦で建てられているそう。23 日目にはカウンターキッチンが出現。シンクは改装前のものを残しておいて再利用。見違えるほどのキッチンにシンクも喜んでいらず。さらにその後は倉庫や食品庫に繋がるドアも設置され、キッチン棚や本棚も設置。

そして 27 日目、左官ガールズの活躍で 1 階ほぼ全ての漆喰塗りが完了。作業は進み 31 日目、ペレットストーブをついに設置。ペレットストーブは、ペレットというおが屑やかんな屑といった製材廃材や古紙といった木質系の廃棄物を粉碎、圧縮し、成型した固形燃料を燃やすストーブ。化石燃料の燃焼とは異なり、CO2 排出量の削減にも繋がるもの。このペレットストーブを販売していただいたのが、自然エネルギーを生活に利用するための機材を販売している「有限会社 三素」の家次敬介さん。ウッドファイバーも手配はもとより、実は櫻井さんとの出会いも繋いでくれた方。存在感漂うペレットストーブが設置されラストスパークへ向かう改装工事。



プレオープンパーティの様子 ▲

室内にあるドアの色がカラフルに塗られ、家の顔と言われる玄関ドアを設置。2 階の壁も塗って、さらに窓も新調。改装開始から 35 日目、キレイに掃除をして仕上げにウレタンを床に塗り、無事工事終了。その翌日 3/18、お披露目となるプレオープンパーティを開催。約 40 名の方々に参加していただき、プレオープンに至るまでの経緯を談話と食事をしながら紹介させていただいた。これで、「ezorock の事務所が一軒家になるまで」のお話は終わり。だが、代表がプレオープンパーティでこんなことを言っていた。

「この一軒家はまだ未完成。みんなが来てくれて活用してもらってこそ完成だ」と。

そう、ezorock は改装工事がしたくて一軒家に移転したのではなく、みんなが気軽に立ち寄って、そこで新しいものが生まれるような空間をつくるために移転したのだ。

木の断熱材知ってる？



ウッドファイバーという木の繊維でできた断熱材を使用しています。従来のグラスウール（ガラスを綿状にしたもの）に比べて人体に影響がないのはもちろん、木という燃えやすそうなイメージでも表面

が炭化することで発火温度が上がり実は燃えにくく、風を通し熱は逃がさないという優れもの。日本では苦小牧にしか工場がなく広く浸透してはいないものの、環境先進国ドイツでは主流の断熱材になっているそう。

ペレットと薪のハイブリット

ペレットストーブは、ペレットというおが屑やかんな屑といった製材廃材や古紙といった木質系の廃棄物を粉碎、圧縮し、成型した固形燃料を燃やすストーブ。化石燃料の燃焼とは異なり、CO2 排出量の削減にも繋がるもの。さらに、薪も燃やせる、ペレットと薪のハイブリットストーブなのです！また、新事務所に導入されたペレットストーブ "CRFTMAN" は、東北地方太平洋沖地震で被害を受けた岩手県釜石市の工場で作られた奇跡のストーブなんです。



Information

address

〒064-0809

北海道札幌市中央区南 9 条西 3 丁目 1-7

open time

13:00~22:00（月曜日定休）

rental

会員 13:00~18:00 1 時間 ¥500
18:00~22:00 1 時間 ¥1,000

ご利用については要予約、お問い合わせください。非会員の方は ezorock 事務局までご相談ください。

※駐車場はございません。公共交通機関でお越し下さい。また、駐輪場もございません。自転車でお越しの際は、地下鉄中島公園駅横にある駐輪場をご利用ください。

